

ものづくり日本大賞

御所のFUKが優秀賞

液晶関係装置を開発

電子機器関連装置の開発設計、製造販売などを手がけるFUK（御所市、植村光生代表取締役）が、経済産業省「第5回ものづくり日本大賞」の優秀賞（製品・技術開発部門）を受賞した。

度の関係から内部が見えない素材を用いるし、作業状況が確認できなかった。このため、不良品率が下げられず、安定した生産に難があった。

FUKは、カバークラスを反（そ）らせて液晶モジュールに張るという、従来にはなかった方法を採用。通常

の大气下で、ほぼ気泡なく張り合わせる装置開発に成功した。

この方法だと素材への負担が少なく、作業状況も目視が可能。シンプルスと安定性で良品率、作業効率を高めることにつながった。

さらに、真空化の不要で、大型液晶パネルへの対応にも道を広げた。

同社は、約4年前にこれらの技術を確認し、国内外パネルメーカーなどからの注文に応じて製品化され、米国最

大手からの引き合いも

あるという。

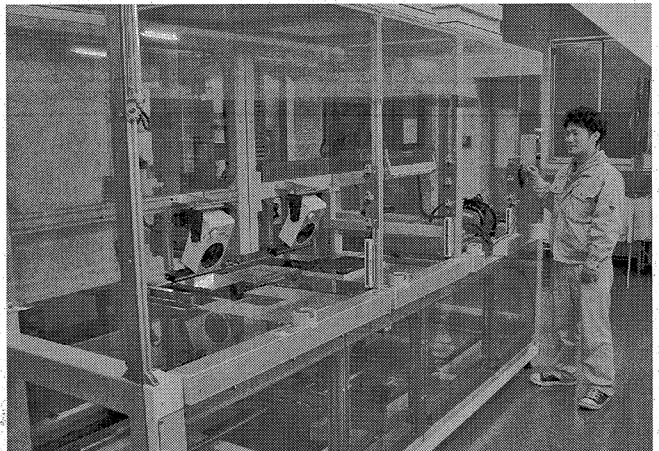
また、今春には、同技術を応用し「切っただけ」の張り合わせ作業を、「張ってから切る」形にした装置を開発。一層の省力化と生産性向上が図れるとして注目されている。

植村代表(48)は『ものまねの装置にしない』姿勢で開発に取り

組んだ。弊社の技術力が認められ、ありがたく感じている。今後、世界にないものを作るグローバルメーカーとして躍進したい」と話していた。

同賞は日本の産業、文化の発展に大きく寄与するものづくりを次代に継承する目的で、製造、生産現場の中核

を担う優秀な人材、団体を顕彰する制度。経一に創設した。



大気圧下でタッチパネル付カバークラスと液晶モジュールを張り合わせる装置―御所市幸のFUK

を担う優秀な人材、団体を顕彰する制度。経一に創設した。